2023年度
環境経営レポート

対象期間：2023年1月～12月

2024年7月14日

MAZDA AUTOZAM KITAMI
マツダオートザム北見
株式会社　北見マツダ自動車販売

環境方針

基本理念

株式会社北見マツダ自動車販売は自動車販売・自動車整備などの全ての事業活動において、低公害車の販売と、先端技術に対応した整備による性能の維持で地球環境保護と豊かな社会づくりに貢献し、社業・発展に勤めます。

行動指針

1　環境に関する法規制を遵守します。

2　限りある資源を大切にするため、節水・節電・化石燃料の節約に努めます。

3　使用済み自動車の適正処理、リサイクルパーツの活動を推進します。

4　環境改善目標を定め、継続的な環境改善を実践し、地域と共に活動します。

5　全従業員にこの環境方針を周知徹底するとともに、環境活動レポートを作成し、公表します。

制定日　2020年　1月　18日

株式会社　北見マツダ自動車販売
代表取締役社長　名和　敏信

事業活動の概要

1.　事業社名及び代表者

株式会社　北見マツダ自動車販売

代表取締役社長　名和　敏信

2.　所在地

北海道北見市緑ヶ丘5丁目6番15号

3.　事業内容

マツダブランドの新車販売

新車・中古自動車販売

自動車整備業（車検・点検・修理等）

部品・用品・タイヤ等の販売

損害保険代理店業務

4.　事業規模

従業員数	14人	（2023年12月現在）
年間売上高	490，049千円	（2023年12月期）
年間販売台数	279台	（2023年12月期）
年間整備入庫台数	3，216台	（2023年12月期）

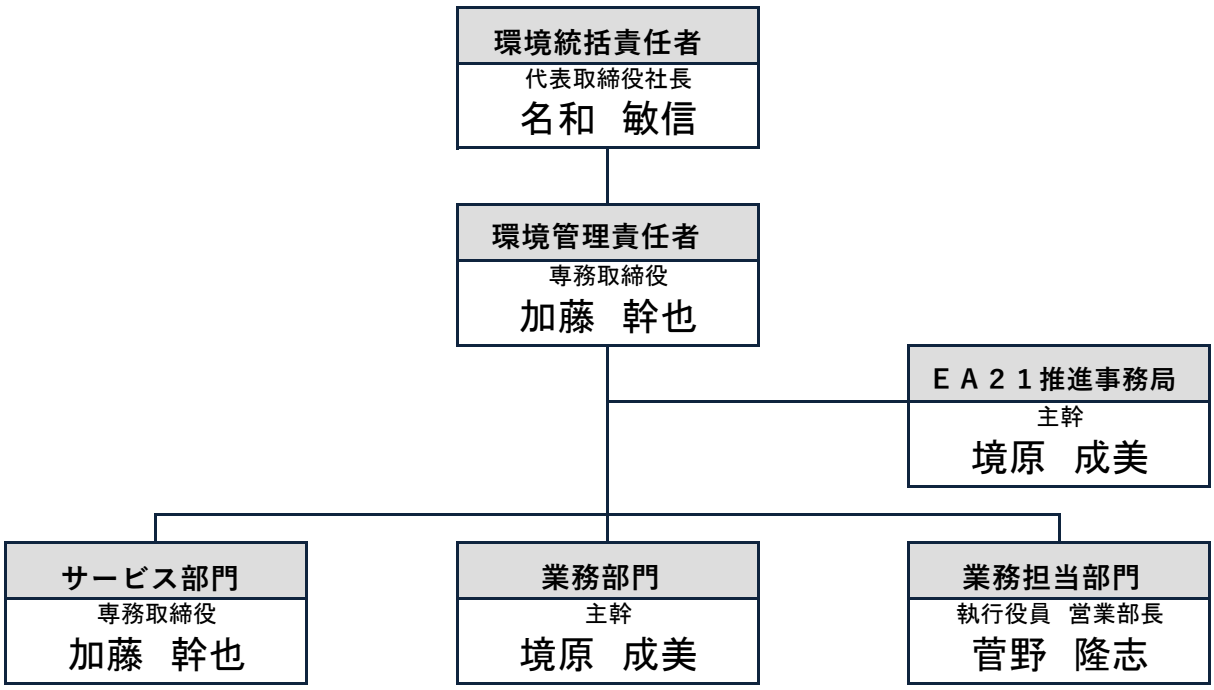
5.　環境管理責任者及び担当者と連絡先

環境管理責任者	専務取締役	加藤　幹也
EA21環境推進事務局	主幹	境原　成美
連絡先	代表　TEL　0157-25-1444	

6.　認証登録の範囲

全組織及び全事業

実施体制



担当者	役割
環境統括責任者 〈社長〉	環境マネジメントシステム（以下EMS）に関する統括責任者 ・EMSの実施及び運用に必要な人、設備、費用、時間を用意 ・環境管理責任者の任命 ・環境方針の策定、見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者 〈役員・業務・サービス部門長〉	実務上の責任者として、環境取組を推進する （※代表者は、環境活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲） ・EMSの構築、実施、管理 ・環境活動計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
EA21推進事務局	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として環境取組を推進する ・環境取組の指導、支援 ・環境データの集計、取りまとめ
部門長	環境取り組みを推進する ・担当部門の環境取り組みの責任者

環境目標

項目		単位	2020年度 基準年度	目標 2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量		kg－CO_2	64,709	64,062	64,062	64,062
	削減率			灯油とLPガス使用量も合算している		
電力使用量		kWh	24,052	23,811	23,811	23,811
	削減率			△ 1%	△ 1%	△ 1%
化石燃料	ガソリン使用量	L	10,536	10,430	10,430	10,430
	削減率			△ 1%	△ 1%	△ 1%
	軽油使用量	L	3,763	3,725	3,725	3,725
	削減率			△ 1%	△ 1%	△ 1%
水使用量		㎥	291	288	288	288
	削減率			△ 1%	△ 1%	△ 1%
パックdeメンテ		台	42	43	43	43
	増加率			2%	2%	2%
グリーン購入		%	100	100	100	100
	増加率			維持	維持	維持
エコカー販売		台	149	153	153	153
	増加率			3%	3%	3%

※二酸化炭素排出係数は2019年度　北海道電力の0.601kg-CO_2/kWh　を使用しています

二酸化炭素排出量の目標値は灯油、LPガス使用量（2020年度維持値）を合算しています

※産業廃棄物は業務量により排出量が変化すること、及び灯油使用量は冬期間の天候に大きく影響を受けるため、環境活動を実施することのみとし、使用量削減は環境目標には設定せず維持管理としモニタリングを実施します

※LPガスは使用量が少ないため、削減目標を設定せず維持管理としてモニタリングを実施します

※化学物質は使用していません

環境活動計画

1.二酸化炭素排出量の削減

①電力使用量の削減(全部門で実施)

・メジャーサインの点灯、消灯設定の確認

・不要な照明の消灯確認

・エアコンの温度設定の確認

②ガソリン、軽油使用量の削減(全部門で実施)

・エコドライブの啓発

・タイヤの空気圧、不要な荷物チェック

・代車貸出時の燃料チェック

③灯油使用量の削減(維持管理)(全部門で実施)

・冬期間の室温を22℃で維持

2.水使用量の削減

・水道メーターの確認記録(業務部門で実施)

・節水の掲示を各水道口に貼り節水活動の推進
（業務部門で実施）

3.産業廃棄物排出量の削減（維持管理）

・廃棄物分別の徹底(サービス部門で実施)

4.環境に配慮した自動車の整備・部品販売

・パックdeメンテ加入促進(業務担当部門で実施)

・エコ商品の提案(業務担当部門で実施)

5.環境に配慮した製品の購入

・エコマーク商品、グリーン購入法適合商品の購入
（業務部門で実施）

6.環境に配慮した自動車の販売

・エコカー販売促進(業務担当部門で実施)

Be a driver.

5車種を比較してピッタリな一台を見つけよう

MAZDA SUV LINEUP

環境活動の取組結果の評価

1、2023年1月ー12月　運用期間の実績　　目標達成状況

項　目		単位	2023年目標 1～12月	2023年実績 1～12月	目標 達成率	評価
二酸化炭素排出量		kg－CO_2	72,329	72,589	99%	×
電力使用量		kWh	23,811	24,514	97%	×
化石燃料	ガソリン使用量	L	10,430	6,283	166%	○
	軽油使用量	L	3,725	6,704	56%	×
	灯油使用量	L	（ 4,831 ） 2022年実績値	5,441	―	―
	LPガス使用量	kg	（ 415 ） 2022年実績値	336	―	―
産業廃棄物排出量		kg	（ 1,085 ） 2022年実績値	2,200	―	―
水使用量		㎥	288	296	97%	×
パックdeメンテ		台	43	43	100%	○
グリーン購入量		%	100	100	100%	○
エコカー販売台数		台	153	156	102%	○

※二酸化炭素排出係数は 2019年度 北海道電力の 0.601 kg-CO_2/kWh を使用しています

2、取組結果の評価と次年度の取り組み　　達成：○、 未達成： ×、 前年と同じ(±0.5%以内)： △

二酸化炭素排出量の削減 × 2023年度目標対比 1%増	化石燃料の使用量は削減されているが、電気使用量の増加により、二酸化炭素排出量の削減目標は達成出来なかった。
次年度取組内容	今後も全体的な使用量の削減を心がける。
電気使用量の削減 × 2023年度目標対比 3%増	サービス入庫の増加により、電気使用量が増加したと考えられる。
次年度取組内容	引き続き消灯活動に取り組み、電気使用量削減に努める。
化石燃料の削減 ○ 2023年度目標対比 9%減	軽油の使用量は増加しているが、ガソリンの使用量は削減、トータルで目標を達成することができた。
次年度取組内容	引き続き来店入庫、来店引取の増加に努める。
水使用量の削減 × 2023年度目標対比 3%増	冬期間は洗車サービスを廃止しているが、サービス入庫台数増加により、水使用量も増加、削減目標は達成出来なかった。
次年度取組内容	節水活動を意識し、目標達成を目指す。
パックdeメンテの増加 ○ 2023年度目標対比 100%	新車販売台数は減少しているが、車検入庫時の加入促進により目標を達成することができた。
次年度取組内容	引き続き加入促進に努める。
グリーン購入の増加 ○ 2023年度目標対比 100%	購入品すべて、グリーン購入を実施している。
次年度取組内容	引き続きグリーン購入を進める。
エコカー販売の増加 ○ 2023年度目標対比 2%増	新車販売車両のほとんどがエコカーとなり、目標達成できている。
次年度取組内容	今後もエコカー販売に力を入れ、増加に努める。

２０２４年度の環境目標と環境活動計画

項　目		単位	2023年度 基準年度	環境目標	環境活動計画
二酸化炭素排出量		kg－CO_2	72,589	71,863	電力・化石燃料の削減地等の合計・環境活動計画を実施することで削減
	削減率			△　1%	
電力使用量		kWh	24,514	24,269	メジャーサイン点灯・消灯の確認・不要な照明の消灯確認・エアコンの温度設定の確認
	削減率			△　1%	
化石燃料	ガソリン使用量	L	6,283	6,220	エコドライブの啓発・タイヤ空気圧・不要な荷物チェック・代車貸出し時の燃料チェック
	削減率			△　1%	
	軽油使用量	L	6,704	6,637	
	削減率			△　1%	
	灯油使用量	L	5,441	維持管理	冬期間の室温を22℃で維持
	維持管理			モニタリング	
	LPガス使用量	kg	336	維持管理	給湯器と事務所の一部暖房に使用
	維持管理			モニタリング	
水使用量		㎥	296	維持管理	水道メーター確認記録・節水の掲示・節水活動の推進
	削減率			モニタリング	
産業廃棄物排出		kg	2,200	維持管理	産業廃棄物分別の徹底・事業系一般分別とリサイクルの徹底
	維持管理			モニタリング	
パックdeメンテ		台	43	44	パックdeメンテ加入促進・エコ商品の提案
	増加率			2%	
グリーン購入		%	100	100	エコマーク商品、グリーン購入法適合商品の購入
	100%実施			継続	
エコカー販売		台	156	159	エコカー販売促進
	増加率			2%	

※二酸化炭素排出係数は　2019年度　北海道電力の　0.601kg-CO_2/kWh　を使用しています
　二酸化炭素排出量の目標は灯油、LPガス使用量2020年度維持値)を合算しています

※産業廃棄物は業務量により排出量が変化すること、及び灯油使用量は冬期間の天候に大きく影響を受けるため、環境活動を実施することのみとし、使用量削減は環境目標には設定せず維持管理としモニタリングを実施します

※LPガス使用量は給湯と一部暖房のみで少量のため、使用量削減は環境目標には設定せず維持管理とします

※事業系一般廃棄物は、紙類の排出のみであり、業務量により排出量が変化することと、全てリサイクルとして処理しているので、環境目標には設定せず維持管理とします

※化学物質は使用していません

環境関連法規への違反・訴訟の有無

１、環境関連法規

環境関連法規	要　求　事　項	評　価
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理	○
騒音規制法	特定施設の届出	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理	○
消防法 危険物の規制に 関する政令	少量危険物（貯蔵取扱所設置）の届出	○
家電リサイクル法	対象家電排出時の適正処理	－
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検	○

※　遵法：　○　　該当無し：　－　　遵守できず：　×

２、違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反・訴訟は１件も発生しておりません。

また、行政機関などからの環境関連の指摘も受けておりません。

代表者による全体の評価と見直し結果

今年度は、二酸化炭素排出量、電量使用量、水使用量などの

削減目標の達成が出来ませんでした。

化石燃料も、軽油使用量が増え目標達成が出来ませんでしたが

ガソリン使用量が大幅に削減できたので、全体では削減目標が達成出来ました。

水使用量の削減ですが、入庫台数等の増加により難しい問題となってきており

次年度より削減目標を決めず、維持管理とします。